

情報共有

(2枚) 立地管理メモ

東京電力株式会社

宮部、NISA等へ プレスリリース

印 不可

プラント状況 (本店レク) 議事メモ

印 不可

日時：平成 23 年 8 月 15 日 (月) 11:00~11:20

場所：東京電力本館 3 階大会議室

先方：記者約 25 名 (カメラ 3 台)

当方：原子力・立地本部

原子力設備管理部

広報部

配布資料：

- ・ 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ (8月15日 6:00 現在)

よりプラント状況、配付資料に関して説明。

質疑：

Q. 共用プールの溜まり水について詳しい場所、流入経路を教えてください。

A. 地下 1 階の北側エレベーター前の通路に溜まっていた。経路については共用プール建屋脇のトレンチの電線管からの流入を確認している。前回確認した場所とは違う。

Q. 電線管に亀裂が入ってきているのか。

A. もともと建屋と電線管は貫通しており、オーバーフローしている形で建屋に入ってきていると考えている。

Q. SPT 受け入れタンクに溜まり水を移送後、止水工事をするのか。

A. 1 階の D/G 復旧作業等をしているので、タイミングを見て移送、止水工事が必要と考えているが、今すぐに実施しなければならないという状況ではない。

Q. 電源系への影響があるのではないか。

A. 地下 1 階には電源系の設備もあるが、現在、使用していないので特段問題はない。また、プール水の冷却塔は外に置いている。

Q. SARRY は順調にいけば 18 日に本格稼働するということか。

A. 午後に詳細をお伝えするが、順調にいけば 18 日にインサービスになると思う。

Q. インサービスの際、どのような運用をするのか。

A. セシウム吸着装置 (KURION) がベッセル交換の際に一時停止するので、SARRY、AREVA の処理ラインに変更することで停止時間を減らしたい。SARRY 単独で DF 値 10 の 4~5 乗の能力が確認できれば単独運転も考えられる。

また、現時点の処理量は $50\text{m}^3/\text{h}$ であるが、今後、処理量を向上させたいとも考えている。

Q. 稼働率の目標は 18 日以降に 90% ということか。

A. 18 日以降の稼働率は 90% で評価を行っている。

Q. 共用プールは通常、地下水の流入が発生する場所なのか。また流入原因は地震の影響によるものなのか、それとも地下水の上昇によるものなのか。

A. 1つは地震と津波により、トレンチについては隙間やひびが発生し、そこから地下水が流入している可能性がある。もう1つは、サブドレンポンプが停止しており一時的に水位を下げられないため、通常より地下水位が高く、トレンチの継ぎ手や隙間から漏れやすい状況である。

Q. サブドレンポンプの再稼働時期は。

A. 時期の目処はたっていない。

Q. 今後も同様の浸水があるのではないか。

A. 3号機コントロール建屋において、電源ケーブルダクトからのオーバーフローが発生しているが、地下水位を人為的に下げることと、流入箇所を埋めることが必要と考えている。

Q. 共用プールの溜まり水の量が 9m^3 のとのことだが、面積ほどの程度か。またどのような止水工事を実施するのか。

A. 面積は 900m^2 で水深は 1cm である。止水工事については具体的には決まっていないが、流入箇所をコンクリートやパテで埋めることになると考えている。

Q. 電線管からの流入箇所は、地震で破損した箇所なのか。

A. 電線管そのものではなくトレンチが地震等でひびや亀裂が発生していること、またトレンチ同士はパッキンのようなもので繋がっているがそのパッキンがずれたことにより、地下水が流入しやすい構造になっているのではないかと想定している。津波よりは地震の影響が大きいと考えている。

Q. ふくいちライブカメラが最近見られなくなったが、バックアップとしてもう1台カメラを増やすべきではないか。

A. 昨日通信不良により見られなくなってしまい申し訳ない。信頼性向上に向けた対策を検討したい。

Q. 5, 6号機の汚染水受け入れタンクの写真を7月4日にロイター通信が公表している。海外のマスコミは発電所に入ることが出来るにもかかわらず、日本のマスコミは中に入れないのか。

A. 当該写真をどのように入手したのかについては把握していないが、当社として現場で取材に応じたことはない。

Q. マスコミは発電所内に入ることは出来ないのか。

A. 現在、事故の収束に全力を尽くしており、現場取材についてはお断りさせて頂いている。ただ、線量も下がってきており現場取材については検討している段階。

以上

307

プラント状況 (本店レク) 議事メモ

8/16 10:00

加藤 公野

広報部

日時：平成 23 年 8 月 15 日 (月) 18:00~18:35
 場所：東京電力本館 3 階大会議室
 先方：記者約 30 名 (カメラ 3 台)
 当方：原子力・立地本部 [REDACTED]
 原子力運営管理部 [REDACTED]
 原子力設備管理部 [REDACTED]
 広報部 [REDACTED]

配布資料：

- ・ 福島第一原子力発電所の状況
- ・ 福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について (第百四十三報)
- ・ 福島第一原子力発電所付近の海水からの放射線物質の検出について (第百四十五報)
- ・ 福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について (8 月 14 日採取分)
- ・ 集中廃棄物処理施設 サブドレン水核種分析結果 (8 月 14 日採取分)
- ・ 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ (8 月 15 日 12:00 現在)

[REDACTED] よりプラント状況、配付資料に関して説明。

※NHK「ETV 特集」(8 月 14 放送)における報道についての説明。

- ・ 非常用ディーゼル発電機を地下へ異動したとの指摘について
- ・ 水素爆発を影響とする格納容器頂部の画像の使用と説明について

質疑：

- Q. サリーの試運転を行う 16、17 日は、汚染水処理装置全てを停止するのか。
 A. 8 月 16 日の 12 時から 17 日の 21 時まででは全て停止する予定である。そのため、プロセス主建屋に溜まっている高濃度汚染水の処理を約 2 日間延期するが、原子炉への注水は継続する。
- Q. 福島第一原子力発電所の免震重要棟は汚染がひどいと聞いているが、どのような状況か。
 A. 免震重要棟の空間線量およびダスト濃度の具体的なデータについては確認するが、全面マスク無しで立ち入っても問題ないレベルである。免震重要棟へ出入りする際は装備の確認、放射線のサーベイを行っているので、放射性物質が持ち込まれる可能性は極めて低いと認識している。
- Q. 現在免震重要棟は正常に機能しているのか。
 A. これまで数回停電が起こったが、非常用ガスタービンが正常に稼働しており、問題無いと考えている。

Q. 水処理施設の不具合に関する報告書について、保安院への報告の目処は。
A. これまでの不具合の原因と発生箇所をどのように点検するかについて、計画書を準備しているところ。それに基づいて調査の結果や不具合のリストを8月下旬目処に提出する予定である。

Q. サリーの使用方法について、他の設備との接続方法は2通りで良いか。
A. サリーとアレバ、キュリオンとサリーとアレバ、キュリオンとサリーをそれぞれ直列につなぐ3通りの使用方法を考えている。

Q. サリー単独での試運転を行わないのはなぜか。
A. 他の装置との試運転においてサリーのDFを確認できれば、単独運転した際のDFも想定できると考えている。

Q. 試運転の際はどの程度の高濃度汚染水を使うのか。
A. 試運転では 10^0Bq/h と 10^3Bq/h の2種類の汚染水を使う予定である。

Q. その汚染水はどこから用意するのか。
A. 10^0Bq/h の水はSPT(B)内にあるアレバの処理水であり、フラッシングをする際にも使用している。 10^3Bq/h の水は、SPT(A)に溜まっている水である。

Q. 10^6Bq/h オーダーの水は本格運転の際に初めて処理するのか。
A. その通り。

Q. 水処理装置の制御室の汚染状況および作業体制は。
A. 制御室内の空間線量としては、 $20\mu\text{Sv/h}\sim 30\mu\text{Sv/h}$ である。作業体制は1班あたり8名の運転員がおり、全部で6班の構成。その6班が2交代で24時間業務を行っている。作業員の累積被ばく量は8月11日現在で最大 8.25mSv 、最小 1.75mSv 。

Q. 今後、運転員の入れ替えは行うのか。
A. 作業の習熟という観点からも何名かは入れ替えを行ってゆく。

Q. 今後の計画として、どのくらいの被ばく量を上限と考えているのか。
A. 協力企業内の社内基準もあるため、確認を行いながら検討していく。

Q. どの企業が運転を行っているのか。
A. 私契約の話であるため、回答は差し控える。

Q. 私契約であると、なぜ話すことができないのか。
A. 特に大きな物品を運搬するとか、大きなケガが発生した場合等は、皆さまの関心が高いことから公表させて頂いているが、個別の協力企業の契約については公開していない。

Q. 運転を行っている企業は単独か、それもとJVか。
A. 単独の企業である。

